

## 第1回国道121号日光地区防災検討会 議事概要

### 1. 日時

平成30年3月14日(水)10:30~11:30

### 2. 場所

栃木県庁 北別館 会議室303

### 3. 出席者(委員)

◎中島 章典 宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科 教授  
清木 隆文 宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科 准教授  
砂金 伸治 土木研究所 道路技術研究グループトンネルチーム上席研究員  
上原 重賢 国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所長  
益子 崇 栃木県 県土整備部 交通政策課長  
狐塚 博司 栃木県 県土整備部 参事兼日光土木事務所長

◎は座長

### 4. 議事

- (1)規約について
- (2)道路交通及び地域の現状・課題について
- (3)整備方針について
- (4)今後の検討の進め方について

### 5. 議事概要

- ・国道121号の未整備区間のうち、防災上の課題が集中している藤原地区及び川治地区を優先整備区間とする。
- ・ルート帯については、既存トンネルを活用するバイパス案と現道拡幅案を比較評価した結果、全ての政策目標の達成が見込め、現道拡幅案に比べ総合的に優れていることから、バイパス案を整備方針とする。
- ・バイパス案について、設計条件等を整理し、詳細なルート、構造の検討を進める。
- ・バイパス案の新設トンネルが既設トンネルと交差し近接施工となることが想定されることから、技術的難易度の高い施工となるものと考えられる。このため、施工時の適切なモニタリング手法や既設トンネルへの影響を考慮した工法等の検討を行う。
- ・また、地元説明会の開催など地元の方々への周知を図りながら検討を進める。